

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公開番号】特開2006-148577(P2006-148577A)

【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2006-022

【出願番号】特願2004-336311(P2004-336311)

【国際特許分類】

H O 4 N 9/07 (2006.01)

H O 4 N 5/235 (2006.01)

H O 4 N 5/335 (2006.01)

H O 1 L 27/148 (2006.01)

H O 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H O 4 N 9/07 A

H O 4 N 9/07 C

H O 4 N 5/235

H O 4 N 5/335 U

H O 1 L 27/14 B

H O 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

入射光が集光する集光面に2次元的に配された複数の受光素子が該入射光を光電変換し、該受光素子に対して配された色フィルタが前記入射光を三原色赤緑青にそれぞれ色分解し、駆動手段が、該複数の受光素子の光電変換により得られた信号電荷を所定のタイミングで駆動信号に応動して転送する撮像方法において、

前記受光素子には、光電感度特性が異なる少なくとも2種類があり、光電感度特性の高い受光素子と、光電感度特性の低い受光素子を、前記2次元の縦方向および横方向において交互に配する工程と、

前記色フィルタに、光電感度特性の高い受光素子に赤色を配した第1の部分と、光電感度特性の低い受光素子に青色を配した第2の部分と、光電感度特性の高い受光素子に青色を配した第3の部分と、光電感度特性の低い受光素子に赤色を配した第4の部分配する工程と、

前記受光素子からの前記信号電荷の読出し動作を表すモードのうち、前記複数の受光素子のすべてから信号電荷を読み出す全画素読出しモードおよび前記受光素子を間引いて読み出す間引き読出しモードのいずれか一方のモードを指定するモード指定工程と、

該指定されたモードに応じて前記駆動信号を生成するとともに、前記モードに応じて生成した駆動信号の供給先を選択して供給する駆動信号生成工程とを含み、

前記モード指定工程では、前記間引き読出しモードにおいて、前記第1および第2の部分のうち少なくとも一方を読み出すモードと、前記第3および第4の部分のうち少なくとも一方を読み出すモードのうちいずれかを指定することを特徴とする撮像方法。